

新潟県

公民館月報 4

平成13年4月号 通巻第578号



昔の少年少女合唱
浜内自治公民館

表紙 松ヶ崎地区郷土民芸
発表会
(畑野町公民館)

特集 《研修報告記》

第12回公民館全国セミナー参加報告

視点 視点と視線 磯部友記雄

ひろば 本来の公民館活動を求めて 網干稔

実践記録 リバーウォッチングイン中ノ口

サークル交流 クウレイメイツ (豊栄市中央公民館)
佐渡紙芝居座 (佐和田町公民館)

素顔拝見 小川清貴さん (十日町市)

春日一浩さん (高柳町)

第52回新潟県公民館大会開催要項(案)

兼第49回中越地区公民館研究大会開催要項(案)

主題「新たな世紀を迎えた公民館のあり方を考える」

「新しい情報通信技術を活用した公民館活動の推進」

第52回県大会は、妻有の地十日町市で七月十八日(日)の開催となった。ここにその開催概要計兩案を紹介したい。

大会は、中魚沼郡・十日町市となった。社会教育振興会が主管し、事務局を十日町市公民館に置き、大会内容は、「新たな世紀を迎えた公民館のあり方を考える」をテーマに掲げ、新しい情報通信技術を活用した公民館活動の推進をサブテーマに設定し、研修を進める予定としている。とくに今回は、IT普及国民運動にかかわる施策により、公民館でもパソコン設備の整備も進み、IT講習会が開始されているので、中央からのこの道の権威者石田晴久先生をお招きし、基調講演していただくこととしている。

主管の中魚・十日町社教振興会では、総力を結集して既に準備に入っているので、多数の参加を望む次第である。

第52回新潟県公民館大会開催要項(案) 兼 第49回中越地区公民館研究大会開催要項(案)

大会主題 「新たな世紀を迎えた公民館のあり方を考える」
～新しい情報通信技術を活用した公民館活動の推進～

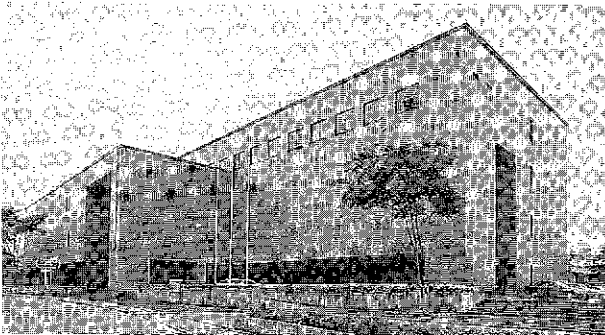
- 趣旨 (前半省略)
新たな世紀を迎えた今、新しい情報通信技術を活用した公民館活動について研究協議し、公民館の一層の充実発展に役立てる。
- 主催 新潟県公民館連合会 中越地区公民館連絡協議会
- 共催 新潟県教育委員会 新潟県公民館振興市町村長連盟 中魚沼郡・十日町市教育委員会連絡協議会
- 主管 中魚沼郡・十日町市社会教育振興会
- 後援 (省略)
- 日時 平成13年7月18日(日) 午前10時開会
- 会場 十日町地域地場産業振興センター(クロス10)
〒948-0003 十日町市本町6-1
TEL 0257-57-2323 FAX 0257-52-4497

- 参加者 市町村長 同議会議員 同議会議員 同教育委員 同社会教育委員
同公民館運営審議会委員 同公民館長 主事 職員 社会教育主事
社会教育指導員 学校教職員 社会教育関係団体役員 一般住民

9. 日程

9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	開会式 表彰式	基調講演	昼食 マルチ メディアデモ	講演 実践事例発表 意見交換	閉会式	

- 基調講演 講演内容等、詳細は検討中
KKアスキー特別顧問・東京大学名誉教授 石田晴久様
- 講演、実践事例発表、意見交換
※持ち方、事例発表者を含め、詳細は検討中
- マルチメディア・デモ※
※情報機器展示ブース設置(パソコン、デジタルTV、デジタルカメラ、携帯電話ほか情報機器等の展示) 検討中
- 参加費 県公民館大会資料代 2,000円
- 申込み ①参加者は別紙申込書により、市町村ごとに取りまとめの上、6月22日(金)までに大会事務局まで申し込んでください(FAX可)。参加費は、申込み期日までに下記の口座に振り込んでください。
・銀行名 北越銀行十日町支店 普通預金 646351
・名義 新潟県公民館大会実行委員長 大島 勉
②参加申込み受付後、「大会参加証」「受領証」を一括送付します。
③申込み責任者は大会当日に「大会参加証」を提示し、大会資料等を受領してください。
④参加申込みの取り消しは、7月4日(金)までとし、それ以降は大会参加費の返却はいたしかねます。ご了承ください。
- 大会事務局 〒948-0022 十日町市学校町1丁目
十日町市教育委員会 十日町市公民館内
第52回新潟県公民館大会実行委員会事務局
TEL 0257-57-5011 FAX 0257-57-5010

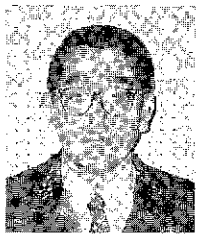


▲会場のクロス10全景

『新潟県公民館五十年誌』完成!!
実践事例集 地域づくりと公民館
社会教育学級等における
学習計画立案の手順と方法
元横浜国立大学教授 吉川 弘著

A4版 300ページ
3,000円
A5版 88ページ
500円(送料実費)
B5版 44ページ
500円(送料実費)

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年共・年極 1,800円
申込先 ☎951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 ☎・FAX025-224-6073



視点

昭和四十三年に公民館勤務の異動辞令を受けてから、もう何年になるのやら、遠い昔の物語の感がしてならない。

社会の変化は、私のような脳では考えも及ばないスピードで激変

視点と視線

人々に活用されている。この現状、嬉しいのか、これまで要望した結果なのか心揺れ動く毎日である。

これまで、社会教育活動、いや公民館活動

し、生涯教育から生涯学習社会へと衣替えし、社会教育施設の無い時代も遠い存在となり、各市町村には豪華な施設が「横文字」の看板を掲げ、地域の

磯部 友記雄

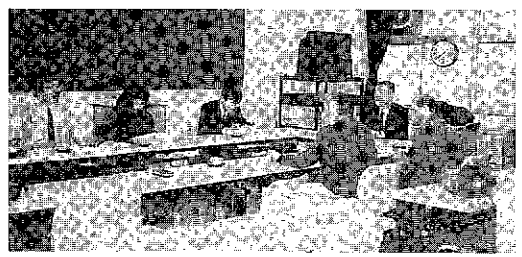
を振り返ったとき、企画する立場の公民館主事として、果たして国民の望んでいた企画がなされてきたのか、反省することしきり、職員としての視点と、地域の人の視線が一致

生涯学習マスコットキャラクター マナー いずもくん



教育委員会参事 (山雲崎町)

第4回 県公連 編集委員会開催される



1. 13年度前半の特集計画作成
2. 五十年記念誌内容最終校正

今年度第4回目の編集委員会が、3月14日(水)新潟市中央公民館で開催された。

今回は、「月報」平成13年4月号から9月号までの特集テーマについて、各委員が持ち寄った案についてそれぞれ協議し、13年度前半の計画を策定した。なお、掲載し切れないテーマについては、後半の特集テーマの候補とすることとした。

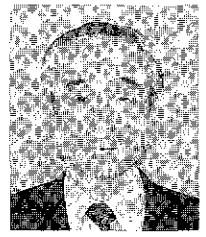
次いで、県公連創立五十年誌の最終校正(監修に近い)作業に入った。全体構成、バランス、表現、表記等についても再点検した。

今年度の編集委員会は、正に五十年誌作成委員会と呼称してもよいようで、企画・編集・校正に全力を投入して作業に当たった。ようやく発刊の目途も立ち、一安堵というところである。

委員会終了後は席を移して、お互いに労をねぎらうためのささやかな懇親の集いをもった。

「本来の公民館活動を求めて」

亀田町公民館運営審議会委員 網 干 稔



「本当」に早く来られるのですね。自分たちの活動時間にはまだまだなのに、「早く来た人が待っているような場所がある」といいのですが「やっぱり時間を守って来てくれるように言った方がいいのでは……」

司会が指名するまでもなく、次から次へと委員諸氏の発言が続く。

ひろば

表面的には華々しく活発に活動しているように見えても、多くの問題を抱えていることが多い。各活動とも、発足時には、公民館活動本来の目的を達成するための内容と方法を兼ねそなえていたであろう。それが長い時間経過の中で変わってきているのであろう。問題を解消し、本来の活動を求めての取り組みを始めたのだ。「要望や苦情を聞いているだけではだめでは無いの、こちらからもやって欲しいことをきちんと伝えたら……」

当町の公民館活動も年々盛んになってきた。喜ばしいことである。しかし、それに伴っての問題も多くなった。公民館運営審議会委員会の本年度(注平成12年度のことです)の任事は、公民館長さんの意向にそい、活動そのもののあり方を徹底的に見直すことの第一歩を踏み出すということであった。

諸問題解決の一步であり原点は、審議委員が気楽に正直に話し合えることにあるようだ。

セミナー参加報告

その1

国立オリンピック記念青少年総合センター わたが、その研修報告記である



一、はじめに

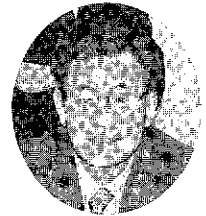
この度、参加した通称「公民館全国セミナー」は、「新世紀スタート生涯学習推進のための方策を探る」と題して、2月14日から16日迄の三日間の日程で、代々木の青少年総合センターを会場に54名の参加のもと実施されました。その内容について、講演・シンポジウムや事例研究についての概略を報告したい。

二、特別講演

国際ジャーナリスト会議理事長 角間隆氏の「新世紀21への離陸」人間は、ホモ・サピエンス(知恵あるもの)である。17歳の問題は、種同士が意味もなく殺し合うことは文明人として恥ずべきことであり、躰ける時期は必要である。学校と家庭を埋めるのが公民館の役割である。ホモ・サピエンスの原点に立ち戻るべき時期ではないか。

三、基調講演I

文部科学省社会教育課長福島健郎氏の「生涯学習社会構築の社会教育行政の動向」生涯学習の目指す理由としての背景と必要性として
①学歴だけでなく、様々な学習の成果や実力がきちんと評価される社



「新世紀スタート 生涯学習推進のための方策を探る」 このことから公民館の運営と実践活動の方向性

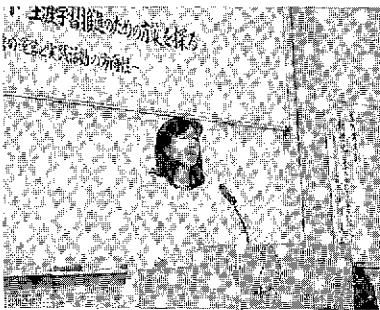
前新潟市東地区公民館長 皆川泰男

会を築くことが必要。

②学習基盤を整備することは、学習者自身のキャリア向上のみならず、社会システム基盤である人材の育成政策として必要。

③学習基盤を整備することは、学習者の自己実現だけでなく、地域社会の活性化、高齢者の社会参加等社会にとつて有意義。

この後、主要施策の概要の説明があったが、その中のIT講習で、生徒が親や大人にパソコンを教えるお手伝いをする話があり、子どもの体験学習として常々考えていたことなので共感を覚えた。



講演中の小川誠子氏

四、基調講演II

東洋大学助手 小川誠子氏
「新世紀に求められる公民館像」151館の事例から」
公民館は中央から発信するものではなく地域の醸成に関わっているが、まともとしては次のことをあげていた。

①地域の教育施設として、ともに実践していける場を積極的に設ける必要がある。

②地域の文化・伝統・産業等を再発見・創造していくための、継続的な学習機会の提供に努める必要がある。

③多くの人が、気軽にボランティア活動に参加できるような実践の場を創出していく必要がある。

④新たな社会の創造に向けた学習の機会を、積極的に提供していく必要がある。

⑤人々が、自分にあった多様な生き方を模索していくことを支援できるような、学習内容の提供に努める必要がある。

公民館は、実情等の違いから断定できないものであることから敢えて「あるらう」とし、あとは公民館関

五、基調講演III

愛媛大学教授 岐幸治氏の「新世紀に求められる公民館活動」
これからの公民館は、各人自分の持ち味発揮の拠点、肩書抜きで付き合いをすすめる拠点、学びのネットワーク化の拠点としての公民館でなければならない。

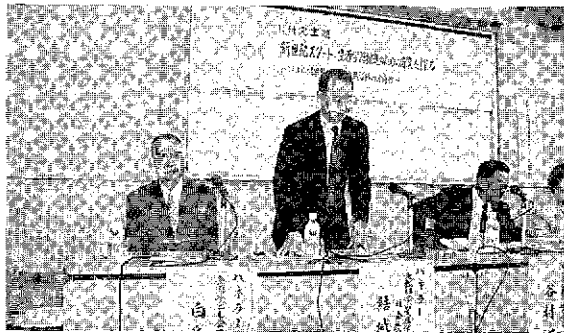
また、情報(知識)―企画(見識)―行動(組織)をキジ・サル・イヌに例えて、巧妙な話術で地域の独自性が大切と強調しながら、今までの公民館は、レストラン型であったが今後は、台所型で各人が材料を持ち寄る学習で、相互の工夫・創造が必要であると強調された。

さらに、住民が主体で話し合いが中心の時代となり、独自性や個性を尊重しながら、つながりのある豆腐型から納豆型の学習形態が展開され、地域を企画・創造していく公民館活動が展開される拠点施設とならなければならないという話であった。

六、シンポジウム

「これからの公民館活動と多方向の視点に立った公民館活動」
袖ヶ浦市長 小泉 義弥

全国子ども会連合会副会長 白鳥 省吾



《研修報告記》

第12回公民館全国

去る2月14日から16日にわたり東京
夕一会場で各都道府県から参加して行

全国公民館連合会理事 谷村 三郎
全国地域婦人団体連絡協議会副会
長 中畔都舎子
日本青年団協議会副会長
西堀 三枝

アナウンサー・エッセイスト
村松真貴子

文部科学省社会教育官 結城 光夫
多彩な顔ぶれで、それぞれの立場
から公民館に対する提言があった
が、特級社会教育官からは、今、度、
公民館設置時の原点を振り返る時
期ではないのか。集める公民館から
集まる公民館への転換。また教育施
設だからといっていた面に制約を
かけるのではなく制約を取っ払っ
てはどうか、改めて再点検が必要。
さらに、記録を詳細に起こす等業績
評価が重要。マスコミを活用する等
PRを積極的に行うべき。

小泉袖ヶ浦市長は、自己紹介を手
話するなどさすが首長だと感心
させられた。また、公民館が中心と
なって歴史や文化を発掘しながら
まちづくりをしている袖ヶ浦市の
社会教育主事は、市長部局のまちづ
くりの要である、これからの公民館
は、感性が大切であり、大いに發揮
してもらいたい、との話があった。

七、事例研究
「21世紀に向けた松本市の公民館
づくり」
松本市中央公民館主事
高橋 伸光

「住民参画の公民館運営について
—公民館の可能性を探る—」
青森県総合社会教育センター社
会教育主事 山田 順一

「本庄市中央公民館における大学
と連携した衛星通信を活用した遠
隔講義」
本庄市中央公民館 依田由美子

本庄市では、運営審議会が中央公
民館のみで20人の委員で構成され
ているが、地区から選出した委員
が、専門部の具体的な活動を通じて
地域づくりの学習と実践を行う公
民館専門委員会制度を導入してい
り、委員は約千五百人を教えるとい
う。

青森県の山田社会教育主事から
は、住民参画の公民館運営のポイン
トとして気懸に立ち寄れる、人が集
まる、かき混ぜ棒のような、頼り頼
られる公民館でなければならぬ
し、公民館は住民の多種多様な活動
の場として大切である、と強調され
た。

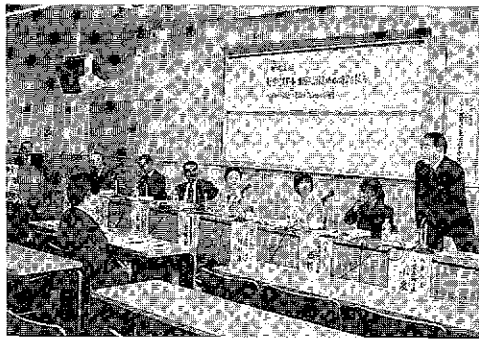
大学と連携した衛星通信による
遠隔講義は、情報化時代にあった事
例ではあるが、学習格差を拡大しな
いよう相互補充やケアが重要であ
ると感じた。

八、終わりに
公民館も40年代から貸館、カル
チャー化し、公民館の存在自体を懸
念する言葉も聞かれる昨今ではあ
るが、あらためて、21年の文部省通

疎に立ち返って、その当時の公民館
の機能を考え直す時期ではないだ
ろうか。その頃の公民館の機能を挙
げてみると次の五つの機能がある。
社会教育・社交娯楽・町村自治振興・
産業振興・青年の養成に最も関心を
持つ機関であるといわれている。

今後の公民館運営に、次のことが
重要なポイントではないだろうか。
一、 情報提供(知らせる)
二、 学習機会の提供
三、 自主的活動の支援
四、 自主連携活動の支援とボラ
ンティア活動までの支援

また、従来のような形式的な住民
参加ではなく、住民と職員が協同し
て政策づくりを進める学習参加型
の新たな住民参加の方向づけがこ
れからは大切であり、公民館の役割
は、コーディネーター役であると痛
感した三日間の研修であった。



◆開催日程概要

○期日

平成十三年二月十四日(水)
十六日(金) (二泊三日)

○会場

国立オリンピック記念
青少年総合センター
〒151-0051
東京都渋谷区代々木神園町三十一
TEL 〇三三四六七七二〇一

○参加者

(1) 都道府県公連の役職員
(2) 市区町村の公民館長・専任公民
館主事

○日程

第一日【二月十四日(水)】

- 11:00 受付
- 11:30 開会
- 12:00 特別講演
- 12:30 休憩
- 13:30 基調講演I
- 14:00 休憩
- 15:00 懇談会

第二日【二月十五日(木)】

- 9:00 基調講演II
- 10:25 休憩
- 11:30 基調講演III
- 12:30 昼食
- 13:30 シンポジウム(テーマ
タイムズ)
- 17:30 夕食 自由交歓

第三日【二月十六日(金)】

- 9:00 事例研究(イ・タイ
ム)
- 11:00 閉会行事
- 修了証授与
- 発表者へ
- 感謝状贈呈

実践記録 シリズ (50)

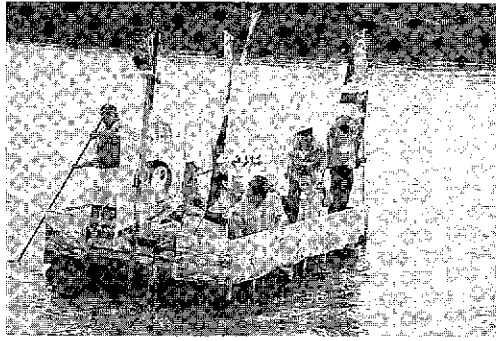
リバーウォッチングイン中ノ口

白根市中央公民館

主事 五十嵐 裕

一、はじめに

当白根市の公民館活動は、平成十二年六月にオープンした白根学習館内にある中央公民館を拠点に、十地区からなる地区公民館で様々な活動を行っています。その中で、桃の花咲く村として有名な茨曾根にある茨曾根地区公民館が、このリバーウォッチングイン中ノ口を主催しています。



二、今年度の取組み

今年度で3回目になるが、参加者も年々増加し、八つの自治会の住民が思い思いのいかだを2艘以内で作製した。各地区の参加者が一つの物を完成させる過程をおとして交流し、楽しみながら、老若男女を問わず、地区民誰もが参加できる事業となった。3回目ともなると各船とも様々なアイデアを凝らし、乗船者も船上パーベキューを楽



しんだり、仮装したり、花火を打ち上げたりと、川から陸を眺める川下りの楽しみ方や水との触れ合いを子どもから大人まで一様に体験したのではないでしょう。また、今年度は地元小学生による伝統芸能でもある「樽ばやし太鼓」で川下りをしている人たちを威勢良く出迎えた。いかだに乗っている人だけが楽しむのではなく、堤防から川下りを眺めている人たちもこの事業に参加している人々である。若い世代は新たに川のすばらしさ、楽しさに触れ、高齢世代の人たちは船が行き交い、にぎやかだった昔を思い出したのではないだろうか。

今回は、特に白根市全体で行われた市民まつり「来しもってまつり」の一環として取り組み、広く地区外の市民にも認知され、茨曾根地区だけでなく、他地区でも同様に信濃川においていかだ下りが行われ、同日二つの川を利用した川下りが実現し

たのである。
三、今後の活動について

今後の展開としては、川下りだけではこのイベントは継続していかない。ただ、川を下るだけでは発展性が望めない上に、いかだに乗れる人数は限られており、地区民全員が参加する事業にまで至っていない。今の若い世代は、昔の生活に川が密接に関係していたことを知らない人が多い。高齢世代にとっては、生活環境から外れた感のある現在の

川は昔を振り返ることができる懐かしい場所である。そういうことを考え、川を利用したイベントを考え、地区民はもとより、地区外からの参加者が気軽に参加できる事業、いかだはもとより、カメラでの川下りや交流フェスティバル等イベントを考え、市民みんなが川を見つめ直す一日、地域を見つめ直す一日としてこのイベントを発展させていき、住民交流、地域間交流、そして世代間交流のひとつのきっかけづくりとして、今後実施していきたいと思えます。

リバーウォッチングイン中ノ口開催要項

- ◎1 開催日時 平成12年8月20日(日)午後1時00分出発
- ◎2 開催場所 両郡橋たもと一戸頭頭首工手前(宮川組資材置場)
- ◎3 参加資格
 - ・小学校以上(小学生、中学生は保護者同伴)
 - 参加者はライフジャケット(救命胴衣)を用意し、必ず着用する。
 - ・一地区2艘以内の出場とする。
- ◎4 参加費 運営経費(保険料等)として1人500円を当日までに必ず納入する。
- ◎5 いかだ作製にあたって
 - ・いかだ作製にあたっては、各自で材料を調達する。事務局より(作製経費については1艘3,000円を支給する。ただし、昨年度出場しなかった地区のいかだは5,000円の補助を受けるものとする。)
 - ・いかだには必ず、前後4カ所にフックを取り付ける。(フックはあまり長くしない。)
 - ・オールまたは竹棒を必ず用意する。また、ゴール地点において、いかだを接岸させるため20m以上のロープを必ず用意する。なお、川の状況によりいかだ同士をつなぐ場合があるので、前後にロープを用意する。
- ◎6 開催当日
 - ・作製したいいかだは事務局の方で指定した時間に回収する。
 - ・運搬後は重機(イバラ重機)で川におろす。ゴール地点において同重機にて引上げを行う。
 - ・スタートにおいては一斉スタートではなく、時間差を設けてスタートする。
 - ・定員オーバーにならないように代表者は乗船者の確認をおこない、事務局に報告する。
 - ・漁船2隻をチャーターし、いかだと並走する。
 - ・川下り終了後のいかだについては、重機による引上げ後、解体並びに撤去を速やかに行うこととする。資材の保管については各自が責任を持って保管し、次年度開催の場合にも今年の資材を使用するものとする。

サークル交流

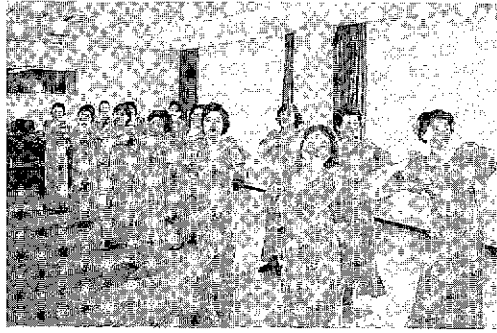
夢のフラダンス

クウレイメイツ

二年位前に、NHKの趣味の講座で、フラダンスを見た時、以前に見たものとはぜんぜん違う何とも素敵でダンスなんだらうと思って見ていました。

その後、友達から新潟のフラダンスの先生を紹介されました。豊栄にも何人か集まれば教室を開いてもと、話しかけられ、すぐに同意致しました。

最初は六人、で公民館に月三回の水曜日の午後から一時間で発足致しました。初めてやるフ



ラダンスで、手も足も思うように動かなかったのですが、素敵なやさしい先生に、どうしてもついて行きたくて続けて来ました。その後、人数もふえ、今は十四人で、先生から手とり足とり指導して頂いていますが、うまくいかない時は、先生から「日本の盆ダンスじゃないんだから」と云われ、首の向き、指先や手首の動き、足の使い方等々、それでも何曲か、ハワイの音楽に乗って先生についてゆけるようになりました。

夢はハワイの海辺、月や星の下で踊ってみたいです。

(クウレイメイツ 豊栄)

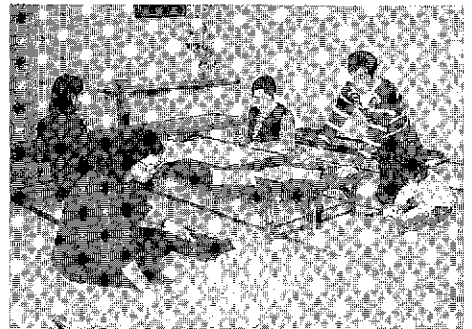
弦巻 康子 (記)

伝えたい、みんなの心に『紙芝居』を!!

佐渡紙芝居座

私たち『佐渡紙芝居座』は、発足して約二十年のサークルです。現在のメンバーは、子育て中の主婦を中心に、老若男女十一名で楽しく活動しております。

発足のエピソードは、子育て中のお母さんが、多くの子供達のために佐渡の民話を紙芝居と



して、残してあげたいという願いから来たと伝え受けています。特に制作は、すべて手作りで、佐渡の民話を元にしたシナリオ作り、構図、配色まで会員同士で何度も練り上げています。

また、演じ方は、体で表現する方法を取り入れての上演で、保育園、小学校などで大好評です。

紙芝居のサイズもタテ五五センチ、ヨコ八〇センチのジャンボサイズということもあり、老人ホームの依頼も、大変増えています。

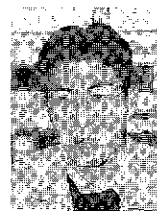
これからも、民話のもつ温かさ、紙芝居のすばらしさを多くの人達に伝えて行きたいと考えています。

(佐和田町 佐渡紙芝居座 佐々木 薫 (記))

十日町市公民館

主事 小川清貴 さん

公民館に久々の新採用職員が登場しました。小川さんは、教師を日指して勉学に励んでいたが、いつの間にか社会教育に目覚め、この公民館へ昨年4月からやって来たのです。当初は研修等が多く初々しい感じがありましたが、慣れてくると事業の計画、実施と周りの職員が尻を



たたかれるようになり、生まれ持つソフトな

素顔拝見

高柳町公民館

係長 春日一浩 さん

平成十一年度に農林課から異動してきた彼は、大きな体、顔、声、態度を遺憾なく発揮して、現在バワフルに仕事をこなしているが、思ったことは、はっきりと言うため、キツイ性格と思われるが、以外に穏和である。



コチャイな面もある。今後のさらなる活躍に期待したい。

老人クラブ等から各種講座の要望があると、即座に実行し、機動力にかけては天下一品である。しかし講師の謝金の伝票を切り忘れて、チラシの字を間違えたりして、かなりのオチョ

感じが青年学級や、ふれあい学級(障害者)等の学級生にうけて、和やかな雰囲気の中で事業を進めています。

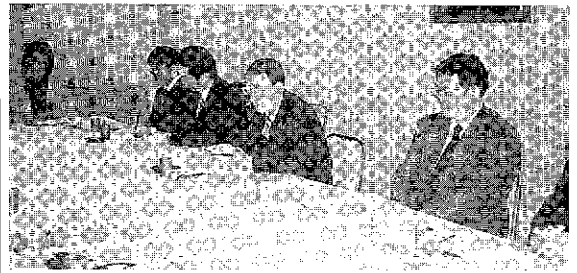
今年8月に聖籠町で行われる「第41回社会教育研究全国集会(越佐集会)青年分科会の現地世話人もして、社会教育のために毎日がんばっています。彼は2002年W杯を観戦すると心に決めていますが、はたしてチケットは当たるのでしょうか。

(十日町市公民館 主事 登坂 弘吉 (記))

こんな彼だが、農林課にいたせい?かどうかはわからないが、趣味の農業にいそしみ、休みにになると長靴に山笠をかぶり、彼の住む「かやぶきの里」・萩ノ島地区に見事にとけ込み、同地区に訪れる観光客に愛想を振りまいているらしい。

(高柳町公民館 永井 弘文 (記))

『月刊公民館』
編集委員会開催される



『月刊公民館』編集委員会が、去る3月19日(月)16時から東京・霞山会館で開催され、事務局長が出席した。今回は、『月刊公民館』8月号以降の編集方針について協議された。

はじめに事務局より、月刊公民館2月号作成の遅れについての報告と、遅れ回復の目途についての説明があった。

8月以降の編集については、委員長を中心に、論考、公民館企画Q&A、とびら、時の話題について意見交換がなされ、予定どおり終了した。

印象に残ったことは、特集記事の論考、実践事例では、もっと幅広く原稿依頼し、公民館のための専門誌としての役割を果たすよう、新しく委員になった委員から強く要望された点である。

平成12年度

恵贈資料紹介

『新風』～生涯学習・生涯スポーツ実践記録集～

新潟県派遣社会教育主事協議会

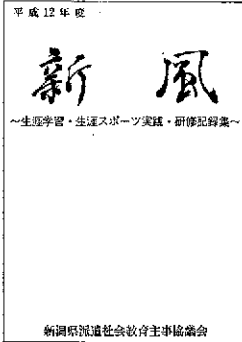
今年も、会員の研修と実践記録を満載して『新風』が恵送されて参りました。

印刷・製本したもので、それぞれ創意・工夫が伝わってくる正に手づくりの記録集です。

かの方から実践事例を執筆していただいたり、また県公民館大会で実践発表していただいております。

県内40市町村に派遣されている社会教育主事が、それぞれの派遣先市町村で、生涯学習・生涯スポーツの計画策定・改訂・推進の中核として取り組み、その一年間の実践研究のまとめです。

会員各人がワープロ、パソコン等で作成した原稿をそのまま



ただ少し気になることは、三年の任期を終える会員の方が過去三年間のすべてについて記述しておられるようですが、一年目はともかくとして、自分が重点的に取り組んだ分野、領域について、深く、鋭く追求して記述した方がよろしいのでは。

平成13年5月の催物ご案内

◇サイエンスショー◇ 4月28日(土)～5月6日(日)

シャボン玉と遊びまショー

巨人シャボン玉やシャボン玉のコブラなど、楽しい実演とおとして、シャボン玉の不思議さを解説します。エントランスホールにおいて、1日数回実施します。

☆プラネタリウム春番組☆ 3月4日(日)～5月27日(日)

『星空ステーションへようこそ』
(内容) アニメによる物語のなかで、美しい春の星空や星座を紹介いたします。

あなたはシャトルに乗って星空ステーション「スターライト」に向かいます。眼下に輝く美しい地球の夜景。そして、満天の星空を存分に楽しんだあなたに「スターライト」の解説員が、ステーションを作ったもう一つの目的を語りかけます。

※ 5月29日(火)から6月2日(土)まで、保守点検のためプラネタリウムの投影はお休みです。6月3日(日)から新番組を投影します。

料金

項目	大人	小・中学生
入館料	310円	310円
入館料+プラネタリウム料	710円	410円

○幼児、障害者の方は無料です。

○プラネタリウムを観覧される場合は入館料が必要です。

○20名以上(有料入館者)の団体は割引制度があります。

お問い合わせ先

☎(025)283-3331 FAX(025)283-3336

Eメール nsm@coral.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.lalanel.gr.jp/nsm/index.html

〒950-0948 新潟市女池南3丁目1番1号

新潟県立自然科学館

あ と が き

◇新潟県公民館五十年誌がようやく刊行の運びとなりました。初校から七校に至るまで、編集委員一同、苦闘しながら何とかゴールにたどり着くことができました。

◆次は、いよいよ52回県大会の準備に入ります。よろしくお願ひします。(鈴木記)

表紙解説

「松ヶ崎地区郷土芸発表会」

地域が一つになり、舞踊・コーラス・寸劇など、手作りの出し物による楽しい発表会でした。(畑野町公民館)

発行所 新潟県公民館連合会
〒951-8053

新潟市川端町2-9・県林業会館内
TEL・FAX (025)224-6073

発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局長 鈴木友夫

印刷 第一印刷所

〒950-8724

新潟市和合町2-4-18

TEL(025)285-7161 FAX(025)282-1776

【定価1部150円 年刊1,800円】